

この説明書は本剤とともに保管し、服用に際しては必ずお読みください。

## 漢方薬局 旺樹の杜 柴胡加竜骨牡蛎湯（黄芩）

柴胡加竜骨牡蛎湯（黄芩）は、「傷寒論」を原典とする、精神不安があつて、動悸、不眠等を伴う、高血圧の随伴症状（動悸、不安、不眠）、神経症、更年期神経症、小児夜泣きに用いられる漢方薬です。

**してはいけないこと**（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

1. 次の人は服用しないでください 生後3カ月未満の乳児。
2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください 他の瀉下薬（下剤）
3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

**相談すること**

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください  
(1) 医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。(4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。(5) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

| 関係部位 | 症 状            |
|------|----------------|
| 皮膚   | 発疹・発赤、かゆみ      |
| 消化器  | はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称 | 症 状                                                                |
|-------|--------------------------------------------------------------------|
| 間質性肺炎 | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。 |
| 肝機能障害 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。                  |

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

軟便、下痢

4. 1カ月位（小児夜泣き、便秘に服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

### 効能・効果

体力中等度以上で、精神不安があつて、動悸、不眠、便秘などを伴う次の諸症：  
高血圧の随伴症状（動悸、不安、不眠）、神経症、更年期障害、小児夜泣き、便秘

### 成分と分量

1包（大人1日量）中に次の成分を含んでいます。

| 成 分 | サイコ  | ハンゲ  | ブクリョウ | ケイヒ  | オウゴン | タイソウ |
|-----|------|------|-------|------|------|------|
| 分 量 | 5.0g | 4.0g | 3.0g  | 3.0g | 2.5g | 2.5g |

| ニンジン | リュウコツ | ボレイ  | ショウキョウ | ダイオウ |
|------|-------|------|--------|------|
| 2.5g | 2.5g  | 2.5g | 0.5g   | 1.0g |

### 用法・用量

本品1包に、水約500mLを加えて、半量ぐらいまで煎じつめ、煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用してください。  
上記は大人の1日量です。

| 年 齢    | 大人（15才以上） | 14才～7才 | 6才～4才  | 3才～2才  | 2才未満     | 3カ月未満   |
|--------|-----------|--------|--------|--------|----------|---------|
| 服用量    | 上記の通り     | 大人の2/3 | 大人の1/2 | 大人の1/3 | 大人の1/4以下 | 服用しないこと |
| 1日服用回数 | 3回        |        |        |        |          |         |

### <用法・用量に関連する注意>

- (1) 用法・用量を厳守してください。(2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) 1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。
- (4) 煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこしてください。(5) 本剤は必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないでください。

### 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。(2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わります。）。
- (4) 煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用してください。
- (5) 生薬を原料として製造していますので、製品の色や味等に多少の差異を生じることがあります。

### その他 医薬品副作用被害救済制度に関するお問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html> 電話 0120-149-931（フリーダイヤル）